

小中高時代、税金の話  
を聞いたことを覚えている  
方はいませんか。あるいは、  
ご子弟から税金の授業を学  
校で受けたというのを聞  
いたことがあるかもしれま  
せん。

国税庁が主体となって、  
小中高の児童や生徒を対  
象に、税金の役割や仕組み  
についてわかりやすく教え  
る出前授業のことを租税教  
室といいます。この活動に  
は国税庁だけでなく、日本  
税理士連合会（日税連）も  
積極的に協力し、税理士を  
講師として派遣していま  
す。租税教室は税金につい

## 租税教室とPR活動

しかし、私は、長年、租  
税教室に携わり講師を務め  
てきましたが、その場では  
税金について理解をしても  
らったという手ごたえは感  
じるのですが、その後、そ  
の時の租税教室が児童・生  
徒の成長する過程で、何ら  
かの影響を与えたのかとい  
うことに疑問を感じていま  
す。特に若年層の選挙での  
投票率の低さには失望感を  
感じています。

租税教室はPRの考え方  
からいくつかの問題点があ  
ります。

①「租税教室」の目的は、  
「健全な納税者意識を養う  
こと」（2011年度税制  
改正大綱）としていますが、  
これが数値目標となってい  
ないということです。納税  
者意識とは、税金の使われ

# 納税者意識向上へ より意義あるものに

て次代を担う児童・生徒に  
理解してもらうということ  
に意義があり、必要なPR  
活動だといえます。



愛知淑徳大学  
ビジネス学部教授  
新井 亨

方を決めるプロセスを理解  
したうえで、応分の負担を  
受け入れる意識のことで、  
この種のPR活動が数値目  
標にそぐわないという考え  
方から、実施することに重  
点を置き、開催件数のみが  
結果となっています。この  
点については国税庁も、日  
税連も同じ見解です。

②租税教室の内容につい  
てです。講義内容のマニ  
ュアルは存在していますが、  
国税庁、日税連など、複数

若年層の選挙の投票率に関  
連性があるという仮説を検  
証することをおこない、投  
票率を数値目標にできない  
かということを考えていま  
す。さらに、②と③につい  
ても、どのような内容が投  
票率に影響するのかという  
ことの検証をする必要があ  
ると考えています。

納税者意識を高めるため  
には租税教室は重要です。  
租税教室をより意義のある  
ものにしていく必要があります。

あらい・とおる マーケティ  
ング論、広告論。愛知大学大  
学院経営学研究科修了。経営学修  
士。1962年生まれ。